

萩商工高校建築コースの2年生が森林・林業インターンシップに取り組みました！

令和4年10月24日(月)、県立萩商工高等学校建築コース2年生6人を対象に、林業体験などを通じて県産木材への理解を深め、林業・木材産業分野への就業を促進するためのインターンシップを行いました。

はじめに、「阿武町の木造施設」として、ABU キャンプフィールドの視察を行い、阿武町まちづくり推進課、キャンプフィールド、施工会社のそれぞれの担当より説明を受けました。

その後、阿武町のうそんセンターで、YOSHIOKA 林業部担当者より「林業と木材の利用」について説明を受けました。

午後から、YOSHIOKA 林業部の素材生産現場で木材搬出の流れと林業機械について説明を受けたのち、2班に分かれて林業機械の操作体験を行いました。

それぞれの視察、説明、体験の後には、生徒から多くの質問があり興味の高さがうかがえました。

生徒たちは機械を操作することにより、機械化が進む現在の林業の一端にふれ、これらの体験を通して、県産材による木造建築や木材生産の現状について理解が進んだようでした。

山口県では、今後もこの取組を継続することで、木の良さや県産木材の利用への理解が進み、木材産業分野などへ就業の選択肢の広がりを期待しています。



ABU キャンプフィールド



YOSHIOKA 素材生産現場